

## MEMS 集中講義 in 京都

毎年夏、恒例の MEMS 関連の技術セミナー「MEMS 集中講義」が、8 月 9 日(火)～11 日(木)、京都の立命館大学で開催されました。

今回は、主催が、当研究センターのほか、東北大学 マイクロシステム融合研究開発センター、MEMS パークコンソーシアム、立命館大学 先端マイクロ・ナノシステム技術研究センター、共催が、東北大学 マイクロ・ナノマシニング研究教育センター、東北大学 ナノテク支援センターという顔ぶれとなりました。

MEMS 集中講義は、MEMS にかかわるさまざまな技術について、基礎からプロセス技術、材料、製造装置、設計、応用、事業展開まで、網羅的に解説するイベントです。こうした幅広い内容について、歴史的な経緯から、最新の動向まで、時間をかけて紹介される点に、特徴があります。さらに、今回は、立命館大学と京都大学の研究拠点の見学会や、交流会も催されました。

「最先端研究開発支援プログラム」マイクロシステム融合研究開発の対象となる技術についても、その源流から、進化の過程や、他の研究機関や企業による研究開発、事業化の状況などが解説されました。

Si 貫通電極の形成プロセス、集積化プロセス、ウエーハ・レベル・パッケージ、応用分野の現状と展望(それぞれ、東北大学 江刺 正喜 教授)、RF MEMS デバイス(立命館大学 鈴木 健一郎 教授)、赤外線センサー(立命館大学 木股 雅章 教授)、IMEC における集積化 MEMS の開発状況、運営の状況(東北大学 田中 秀治 准教授)、医療用 MEMS デバイス(東北大学 芳賀 洋一 教授)、MEMS 冷却器(U.C. Berkeley A. Pisano 教授)などです。

当研究センターからは、接合実装(高木 秀樹)、圧電 MEMS デバイス(小林 健)、当研究センターと MEMS の課題(前田 龍太郎)が紹介されました。